

2023-24 RI会長 ゴードン・R・マッキナリー
RI 2820地区ガバナー 大久保 博之

Hasaki Rotary Club Weekly



No.2204号 2024年2月29日発行
平和構築と紛争予防月間

例会プログラム

- | | |
|-----------|------------|
| ・点 鐘 | ・幹 事 報 告 |
| ・国 歌 斉 唱 | ・委 員 会 報 告 |
| ・ロータリーソング | ・ニコニコ・財団報告 |
| ・RIテーマ唱和 | ・出 席 報 告 |
| ・ビジター紹介 | ・卓 話 |
| ・会長あいさつ | ・点 鐘 |

創立：1978年2月23日
加盟：1978年4月14日
例会場・事務所：神栖市商工会波崎支所
〒314-0343 茨城県神栖市土合本町5丁目9809-527
電話 0479(48)0333
例会日：毎週木曜日 12時30分～13時30分
○会 長 篠 塚 茂 男
○会長ニレト兼副会長 西 條 健 一
○幹 事 西 條 健 一
○副 幹 事 後 藤 美 紀 代

第2203(27回) 例会報告

令和6年2月8日(木)晴れ

進行：菅谷SAA

本日のお客様：なし

◇ 会長あいさつ……………篠塚会長

本日の例会は久しぶりに、出席者の多い例会になりました、会員の少ない中ですが、賑やかさを感じますと共に、良い雰囲気での例会になりそうです。

先週、投票が行われた神栖市議会議員選挙において、遠藤会員と高橋会員が見事当選を果たしました、心よりお喜び申し上げます。

サイパンRCとの高校生交換プログラムが2週間後に始まります、約1週間を波崎の地において滞在し、日本の文化に触れる事や、日本の家庭での生活が彼らにとって良い体験となる事と思います。

これまで準備を進めて来ましたが、あと2週間後には実施されます、思い起こせば6年前の交換プログラムを実施出来ていた状況が、日本とサイパン共に変わりました私達はサイパンRCが、どの様な対応をしてくれるか、人口58,000人しかいない島の経済を考えた時に、サイパンから高校生の交換プログラムに、サイパンRCが話しに乗って頂けるか、私達の要望を受けてくれるか、不安な中をサイパンに向かいました、訪れた時に感じた事は、観光が最盛期の1割程度まで落ちているという事です。経済がコロナの影響を受けた状況です、街の様子も変わっていました、そんな中でもサイパンRCは私達、波崎RCを歓待してくれました、感謝したいと思います。日本的には円安により、円の価値が下がりました、サイパンから日本に来る便の往復航空券が950\$ (14万円) にもなってしまいます、その様な中での事業であります。多くの意見はあると思いますが、この状況化での事業です、どうか会員の皆様の協力をお願い致します。



◇ 幹事報告……………西條(健) 幹事

1. 2月18日に開催されるIMで、パネルディスカッションのパネラーを2名選出します。入会3年未満及び15年以上の各1名です。

1. 自己紹介・入会動機
2. 入会して良かったこと、思うこと
3. ロータリーを発展させるには
4. これだけは言いたいこと

一人5～6分程度の持ち時間

懇親会では、他クラブのメンバーと交流の為、仕事の名刺を持参して下さい。



◇ 卓話

○ 震災と自分の関わりについて……………遠藤会員

皆さん、こんにちは今日は卓話ということで少しお話をさせていただきます。

今回は震災と自分との関わりについて被災地で感じたことを話したいと思います。



最初の関わりは阪神淡路の大震災でした。運送会社を経営していることから1/17日の発災直後から被災地の状況が社員を通じてリアルに把握できました。待機していた埠頭岸壁からトラックが海に落ちていること、神戸の街が機能していないこと、コンビニに水、食料、など商品が略奪されたように何も無いこと、道路に建物が倒壊して通行が大混乱していることなどや、神戸から大阪、京都方面へと非難することも大変時間がかかること、大都市の物流が止まると食料品が枯渇することを数時間で理解しました。当時の日本社会は大きな災害に対して対策が充分ではありませんでした。私は波崎青年会議所に所属していたことからメンバーと協議して救援物資を神戸に送ることにしました。このことを波崎町役場に相談し送付場所の確認を役所にお願ひしました。次に新聞折り込みに物資募集の案内を織り込み救援物資を集めました。波崎の皆さんは呼びかけに答えていただきたくさんの物資を送る準備ができましたが、送り先や輸送経路など行政にお願ひしたことは確定することができませんでした。ここで私の感じたことは、「災害時の行政組織は機能しない」という思いでした。警察に救援物資の輸送を相談しても結論は導き出すことができず、役場は送付先と連絡することができず、最終的にトラック協会での緊急物資輸送ということで神戸に物資を届けることができました。緊急支援物資輸送で感じたことは「行政の限界」ということでした。こんなことが、阪神淡路大震災が「ボランティア元年」といわれている由縁だと思います。次の関わりはナホトカ号の事故です日本海でのタンカーからの原油流出事故での漂着した原油回収のボランティア活動での体験です。ボランティアは自己完結が原則です。ボランティアセンターとの打ち合わせで支持を受けた後は現地での移動も食事も体調管理も活動時間も自己責任です。実際に海岸での作業をしていると自分たちで準備し手配した仕出し弁当を、同じ作業をするほかのボランティアが「何で弁当が届かないのか」などや、ボランティアセンターでの活動時間の打ち合わせでの撤収時間の決定も「もう少しで終わるのに帰るのですか」など自己完結の経験不足な人も多くいました。被災地では「多くの感情を持ち込まず、自分のできる行動を自己完結で」と感じました。東日本大震災では、炊き出しを通じて多くに方々と話を聞く機会と現地の状況などから感じたことは、「行政組織の重要性」と「地域コミュニティの大切さ」、「避難した人の規範意識」が災害から復興するためには重要だと教えられました。災害支援は「おたがい様という気持ちと支援の必要を感じたら自己責任で行動する」ことだと考えています。ありがとうございました。

◇ IMの様子

IM荒井ガバナー補佐から第八分区旗の引き継ぎ



IM大久保ガバナー挨拶



パネルディスカッション安藤委員

パネルディスカッション遠藤委員

金子次年度ガバナー補佐挨拶



◇ 出席報告 西條（健）幹事

項目 例会	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メイクアップ会員数		出席率(%)
第1例会	13会員	13会員	出席: 8	メイク: 0	61.54%
第2例会	13会員	13会員	出席: 10	メイク: 0	76.92%
第3例会	13会員	13会員	出席: 9	メイク: 0	69.23%
第4例会	13会員	13会員	出席: 休会	メイク: 休会	休会
第5例会	13会員	13会員	出席:	メイク:	
2月度平均					

2月度出席表 出席:○ 欠席:/ M+数字:メイクアップ回数 出席免除:免

会員名	1日	8日	18日	22日	29日	出席数	M数	会員名	1日	8日	18日	22日	29日	出席数	M数
安藤 信一	/	/	/	休会											
安藤 寿博	○	○	○	休会											
泉 純一郎	○	○	○	休会											
遠藤 貴之	/	○	○	休会											
金子 大作	○	○	○	休会											
後藤美紀代	○	○	○	休会											
才賀 秀樹	○	○	/	休会											
西條 健一	○	/	○	休会											
西條 昌良	/	/	/	休会											
篠塚 茂男	○	○	○	休会											
菅谷 昭夫	○	○	○	休会											
高橋 佑至	/	○	○	休会											
藤代 広樹	/	○	/	休会											

メイクアップ

◇ ニコニコBOX報告 金子親睦委員

ニコニコBOX	0円
コインBOX	0円
ビジター (0件)	0円
合計	0円

ニコニコBOX	
1週	6,000円
2週	0円
3週	0円
4週	円
5週	円
月計	6,000円
累計	159,000円

コインBOX	
1週	500円
2週	0円
3週	0円
4週	円
5週	円
月計	500円
累計	24,616円

2月の予定 29日 サイパン短期交換留学卓話